

# 全木連時報

10月25日(月曜日)  
(第631号) (毎月25日発行)  
平成22年(2010年)

発行所  
社団法人 **全国木材組合連合会**  
尾 蘭 春 雄  
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580) 3215  
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。



## ご挨拶

大会会長

社団法人 **全国木材組合連合会**  
会 長 **並 木 瑛 夫**

全木連と全木協連が主催する第四十五回全国木材産業振興大会は、「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」「木づかい」でCO<sub>2</sub>の削減・豊かな生活」をメインテーマに掲げ、十月十四日に札幌市の「札幌グランドホテル」で開催された。大会担当は北海道木材産業協同組合連合会。第一部の大会議事では、別掲の大会宣言を満場一致で決議した。第二部の表彰式では、退任団团长表彰、木材産業功労者表彰、協同組合事業功績者表彰が行われた。また、記念講演会として、財団法人総合研究所理事長の寺島実郎氏による「世界の構造転換と日本・環境経済と木材産業の未来」が開催された。この後、懇親会に移り、盛況のうちに閉幕した。

全国木材産業振興大会の開催に当たりご挨拶を申し上げます。本日、第四十五回全国木材産業振興大会をここ札幌市において地元の関係者の皆様方のご尽力により、かくも盛大に開催できますことは、大きな喜びであり光栄であります。また、ご多用のなか、農林水産大臣、国土交通大臣、長野庁長官、北海道知事、北海道議会

# 第45回全国木材産業振興大会開催

## 新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興 「木づかい」でCO<sub>2</sub>の削減・豊かな生活

### 札幌市に全国から参集

## 宣言決議

- 一、住生活空間への木材利用の大幅拡大、国産材利用拡大、木質バイオマスの活用・普及に全力を挙げて取組もう
- 一、木材産業の事業活性化のため、総合的な経済対策、中小企業対策などの充実・実現に取組もう

議長、札幌市長をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り心から御礼申し上げますとともに、全国各地から参集いただいた多数の会員、友好団体の皆様に感謝申し上げます。次第であります。

北海道は、豊かな自然環境、地域資源に恵まれ多様な魅力あふれる地域づくりが進められており、北の「大地」とのふれ合いを求め、て実に多くの人々が訪れています。林業・木材産業につきましては、豊富な森林資源を背景に木材の生産加工が行われ全国の木材業界に大きな影響力をもっている地域で

## 目次

- 一 面 第四十五回全国木材産業振興大会を札幌市で開催 大会宣言を決議し早期実現を図る 大会会長挨拶
- 二 面 協和木材が天皇杯受賞
- 三 面 振興大会栄えの受賞者 国際森林年について
- 四 面 景況調査

- 一、公共建築物等への木材利用促進の法制度に基づく、木材利用促進の徹底に取組もう
- 一、安全・安心のJAS製品、合法木材・木製品の普及定着、供給体制の整備に取組もう
- 一、炭素を固定し再生可能な「木材」の利用推進が図られる税制度、エコポイント制度の拡充、地球温暖化対策税制度などの導入に取組もう

あります。このような地で平成十年以来十二年振りに、全国の木材産業関係者が会して、木材の利用促進、業界の振興方策・展望などについて確認し合い、それらを広く訴えていこうとする本大会が開催できますことは大変に意義深いものであります。さて、わが国の経済情勢は円高・デフレ、雇用情勢の悪化など一段と厳しさが増してきています。昨年は住宅投資が冷え込み七十九万戸の新設着工実績にとどまり、木材需要量については六千三百万mと大幅に減少しました。我々は住

宅減税、エコポイント制度措置ほか木材利用、木造住宅の各種対策などの政策効果により、住宅等木造建築物の着工や木材需要の回復が進むことを祈るような思いで期待していましたが、依然として明るい兆しを見いだし難く、地域経済の一翼を担う木材業界の事業活動は一層深刻度を増している状況にあります。先般、国は三段構えの経済対策を打ち出して第一ステップで九千二百億円の緊急的対応を措置しましたが、この対策の早期実行に加え更なる景気・経済対策が切れ目なく実現できるように強く要請する次第であります。

農林水産省は、昨年十二月に十年後の木材自給率五十%を目標として「森林・林業再生プラン」を策定するとともに、それを実現するための具体的施策を鋭意検討して制度創設・改正や予算要求などへの反映を進めています。その第一弾として「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」がこの十月一日に施行されました。このような制度は我々木材業界が永年の間切望してきたところであり林業・木材業界の振興にとって大変に意義深いものであります。森林・林業再生プランの具体的な施策につきましては、既に中間報告が行われ森林管理、木材の生産・加工・利用など様々な施策の展開方向が明らかにされています。また、この六月に閣議決定された「新成長戦略」においては「森林・林業」が成長分野として位置づけられているところであります。木材の供給、利用を担う木材業界としては、これら施策の展開方向を踏まえて会員挙げて最善の努力をいたす決意であります。国、地方公共団体の効果的な施策について一層の充実強化をお願いする次第であります。

この十月一日に施行された「木材の利用の促進に関する法律」が、この十月一日に施行されました。このような制度は我々木材業界が永年の間切望してきたところであり林業・木材業界の振興にとって大変に意義深いものであります。森林・林業再生プランの具体的な施策につきましては、既に中間報告が行われ森林管理、木材の生産・加工・利用など様々な施策の展開方向が明らかにされています。また、この六月に閣議決定された「新成長戦略」においては「森林・林業」が成長分野として位置づけられているところであります。木材の供給、利用を担う木材業界としては、これら施策の展開方向を踏まえて会員挙げて最善の努力をいたす決意であります。国、地方公共団体の効果的な施策について一層の充実強化をお願いする次第であります。

ところで、本大会は「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」をスローガンとして、今、我々業界にとつて最重要の取組課題は木材需要の回復・拡大です。木材及び木材産業は低炭素化社会の実現や地域経済の振興に大きく貢献するものであり、我々業界が維持発展しそれらの役割使命を十全に果たしていくためにも「木材」「木質資源」を住生活空間はもとより公共施設・工事、商工業施設、バイオマスエネルギー、日常生活用などのあらゆる分野、用途への需要拡大・掘起しに対して果敢に挑戦していくことが必要であります。併せて関係機関、建築関係者、需要・消費者との一層の有機的連携・協働を進めるとともに、引き続き木材利用・木材産業の役割・意義について広く理解促進に努めていかなければなりません。そして同時に、木材マーケットに柔軟に対応できる木材供給体制、すなわち低コストで安全・安心の木材製品を安定的に供給できる体制を各地域で整えていくこと、特に品質・性能の明確なJAS製品、乾燥材の安定供給体制を構築することなど、これらにきちんと取組んでいくことが求められています。また、木質資源を活かした「排出量取引」や木材の環境貢献度を明らかにする「カーボンフット・プリント制度」などへの参画や合法木材の普及・供給促進に的確に対応していくことが必要であります。これらに的確に対処していくことにより、木

## 協和木材(福島県)が

### 天皇杯受賞

平成二十二年度の第四十九回農林水産祭林産部門で、福島県東白川郡塙町の協和木材株式会社(代表・佐川広興)が天皇杯を受賞した。

これは、同社が、全木連等が主催した平成二十一年度の第三十七回JAS製材品普及推進展示会において農林水産大臣賞を受賞し、その実績が評価されたもの。表彰は十一月二十三日に明治神宮会館の式典で関係者多数出席の中で執り行われる。

受賞理由の中で、地域材の安定供給、高度な製材技術、需要者ニーズへの対応が受賞者の特色とされている。

材の需要拡大、木材産業の再興の展望が切り拓かれるものと確信いたす次第であり、全木連といたしましても皆様方と力を合わせて多くの諸課題の解決に向けた取組みに全力を尽くして参る覚悟であります。

木材業界は、現下の厳しい状況から抜け出るのに大変苦戦していますが、業界一丸となつて努力を重ねてまいる所存でありますので、ご列席の関係行政機関、関係団体の皆様方には、これまでにも増してご指導、ご支援の程を切にお願

い申し上げる次第であります。最後に、本日、栄えある表彰を受賞される皆様に対し、長年のご精進とご労苦に深甚なる敬意を表しますとともに、心からのお祝いを申し上げます。

また、本大会の開催に当たりご支援、ご協力いただいた北海道木材産業協同組合連合会ほか関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。挨拶といたします。

## 第45回全国木材産業振興大会 栄えの受賞者(敬称略)

### 前大会以降退任団体長表彰

石川 角 永 善 一	全木連会長感謝状
沖繩 橋 本 博 明	素生協 鈴木 正 年
全買連 高 篠 和 憲	愛知 村 井 龍 一
東京(木場製材) 上 地 宏 保	林野庁長官感謝状

愛知 石 原 康 弘	全木連会長表彰状
島根 下 西 昭 昌	北海道 細畑利治 高坂亮二
広島 堀 川 保 幸	岩手 鈴木 明
愛媛 井 上 誠 一 郎	宮城 高橋誠一郎
高知 伊 藤 訓 新	茨城 益子壮一
佐賀 古 賀 富 夫	栃木 大岡周久
宮崎 五十嵐 可 久	群馬 山口忠義 渡邊 米
鹿児島 水 流 道 大	埼玉 和 田 充

北海道 秋 元 紀 幸	富山 尾 山 武 久
秋田 高 橋 清 寿	群馬 一 場 章 良
栃木 東 泉 清 久	山馬 尾 山 武 久

宮城 高橋誠一郎	茨城 益子壮一	群馬 大岡周久	埼玉 和 田 充
----------	---------	---------	----------



Table of names and titles for the 45th National Wood Industry Revitalization Conference, including names like 石井隆夫, 菅野恒雄, 飯島晨邑, etc.

Table of names and titles for the National Wood Industry Revitalization Conference, including names like 小田光信, 林雅文, 増江潔, etc.

協同組合事業功績者及び優良組合表彰

Table of names and titles for the National Forest Year 2011, including names like 片瀬和彦, 和田育夫, 佐々木角己, etc.

「2011年は国際森林年です」

Main article text discussing the International Forest Year 2011, the role of forests, and the 'Forest for People' theme.

Advertisement for All Wood Connection Group's insurance and support services, including 'Enterprise Management安心提供' and 'All Wood Connection Group's Various Insurance System'.

景況調査=全木協

22年9月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数109 回答数58 回収率53%

当月の状況

販売量	増加31% (18)	変わらず57% (33)	減少12% (7)
仕入量	増加29% (17)	変わらず57% (33)	減少14% (8)
販売価格	上昇7% (4)	変わらず88% (51)	下降5% (3)
仕入価格	上昇9% (5)	変わらず91% (53)	下降0% (0)

来月の見通し

販売量	増加36% (21)	変わらず57% (33)	減少7% (4)
仕入量	増加33% (19)	変わらず53% (31)	減少14% (8)
販売価格	上昇7% (4)	変わらず90% (52)	下降3% (2)
仕入価格	上昇10% (6)	変わらず87% (50)	下降3% (2)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	8% (4)	82% (41)	10% (5)
南洋材	13% (6)	83% (38)	4% (2)
北洋材	8% (4)	86% (42)	6% (2)
国産材	26% (14)	66% (35)	8% (4)
建材	18% (8)	69% (31)	13% (6)

乾燥材取引の頻度	増加 20% (11)	変わらず 80% (43)	減少 0% (0)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数116 回答数75 回収率65%

当月の状況

販売量	増加51% (38)	変わらず38% (29)	減少11% (8)
仕入量	増加40% (30)	変わらず45% (34)	減少15% (11)
販売価格	上昇12% (9)	変わらず87% (65)	下降1% (1)
仕入価格	上昇33% (25)	変わらず60% (45)	下降7% (5)

来月の見通し

販売量	増加29% (22)	変わらず59% (44)	減少12% (9)
仕入量	増加32% (24)	変わらず55% (41)	減少13% (10)
販売価格	上昇7% (5)	変わらず88% (66)	下降5% (4)
仕入価格	上昇20% (15)	変わらず71% (53)	下降9% (7)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	14% (4)	65% (18)	21% (6)
南洋材	17% (4)	79% (18)	4% (1)
北洋材	17% (4)	71% (17)	12% (3)
国産材	27% (17)	65% (40)	8% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 45% (5)	1ヵ月 37% (4)	1ヵ月以上 18% (2)
---------------	------------------	----------------	------------------

中、わが国として森林減少の防止や持続的な森林経営を進めていくことに対して協力をしていくことも重要です。これまでも国内外で多くの人々が様々な活動を進めてきています。これらの取組みを支援し、これまでに以上の多くの国民の理解と協力が得られるようにすることが期待されます。

政府としては、国際森林年を迎えるにあたって推進のための実行委員会的な組織を作り、全国各地のイベントとも連携しつつ効果的な取り組みを推進していければと考えています。

具体的な検討はこれから進むこ

ととなると思いますが、行政や学会、NPOの方々や国際森林年について話し合うシンポジウムなどの取組みや国際交流、森林を守る活動をしている人々や森林を持続的に活用するための活動をしている企業、NPOの人々の活動を支援するとともに広く紹介・PRするような取組み、更には森林・木材のことを広く都会の人々に知ってもらうための取組みなどが必要なのではないかと思っています。

森林のことを多くの国民に理解してもらうためには、いわゆる広報活動がとて重要になってきます。これまでも森林の重要性をPRの中に取り入れていただいていた

る企業も多くありますが、来年はその意義について産官学様々な立場から効果的に広報していければと思います。また、きれいな森林の写真や森林に関連する芸術活動なども理解を進める大きなツールとなると思います。このような活動は何も国際森林年だから急にするというのではなく、これまで様々な取組みを支援していくという形で効果があがるのではないかと思います。

この文章を読んでいただいた方の中で、国際森林年に関してこのようなことを協力できるというようになことがあればお知らせいただきたいと思っています。

林業・木材産業経営安定化保証

(通称フォレストパートナー保証)を受け付けています。

- ◎ 木材産業等高度化推進資金や間伐資金などで100%保証が受けられます
- ◎ 最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)



詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)  
TEL 03(3294)5585 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com